

2024年 PRI（国連責任投資原則）年次評価結果について

朝日生命保険相互会社（社長：石島健一郎、以下「当社」）は、2024年 PRI（国連責任投資原則）年次評価結果を以下のとおり受領しましたのでお知らせします。

当社は2023年度の取り組みを対象とした今回の評価において、「ポリシー・ガバナンス・戦略」の項目で最高評価となる「5つ星」を獲得しました。また、「株式投信」「債券投信」「インフラファンド」「プライベート・エクイティファンド」といった委託資産の各項目や「報告書の信頼醸成措置」において最高評価に次ぐ「4つ星」を獲得しました。

<2024年 PRI 年次評価結果>

評価項目	報告内容	評価結果
ポリシー・ガバナンス・戦略	責任投資やスチュワードシップに関する方針、ガバナンス、戦略の取り組み状況	★★★★★（5つ星）
株式投信（アクティブ）	運用会社の選定、指名、モニタリングに関する実施状況	★★★★★（4つ星）
債券投信（アクティブ）	〃	★★★★★（4つ星）
インフラファンド	〃	★★★★★（4つ星）
プライベート・エクイティファンド	〃	★★★★★（4つ星）
報告書の信頼醸成措置	報告内容に関するレビュー・検証等の取り組み状況	★★★★★（4つ星）

※株式投信（アクティブ（上場株式））、債券投信（アクティブ）、インフラファンド、プライベート・エクイティファンドは委託資産。

当社は、ESG（環境・社会・ガバナンス）要素を考慮した投融資とスチュワードシップ活動（投融資先企業との対話・議決権行使）の2つを責任投資と位置づけ、社会課題の解決に向けたポジティブなインパクトの創出、ネガティブなインパクトの抑制を目指すと共に、投融資リスクの削減と収益機会の獲得に取り組んでいます。

今後も責任ある機関投資家として、資産運用を通じて社会課題の解決に貢献してまいります。

<PRI の概要>

Signatory of:



機関投資家に対し、ESG（環境、社会、ガバナンス）の課題を、投資の意思決定プロセスに組み込むことを提唱する原則です。

2024年12月時点で5,200機関を超える国内外の投資家が参加しています。

以 上